

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	円滑かつ効率的な議会活動の支援						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
・地方自治法、議会基本条例、議会議事規則、議会委員会条例など法令の規定に沿った議会運営及び議会の政策立案・提言を支援するため、議長及び議員に対する各種情報提供・研修、調査報告、助言等を行う。 ・市長をはじめとする執行機関との情報交換・連携を密にし、取手市議会が開会中・閉会中を問わず市政の課題に対応していけるよう必要な支援を行う。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
議会本会議及び委員会、議員全員協議会の開催数(暦年指標)	回	79	77	90	90

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例会の運営支援		↔ 第2回定例会			↔ 第3回定例会			↔ 第4回定例会				↔ 第1回定例会
臨時会・閉会中審査の 運営支援	← 年間を通じ 随時実施 →											

進捗状況	本会議・委員会をはじめとした会議の円滑な開催を支援した。	進捗度	A (予定どおり進んでいる)
------	------------------------------	-----	-------------------

今後の方向性	
改革改善	議会運営を支援する議会事務局職員の知識・判断力をより一層充実・強化するため、職員学習会を年間スケジュールに位置付け、年間を通じて組織的に職員の育成を図っていく。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				議員に貸与しているタブレット端末の機種入れ替えにより前年度に比べて端末使用料などの経費が増えた。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,058	8,985	14,002	
事業費計(A)		7,058	8,985	14,002	
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	3,420	3,234	3,780	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		10,992	10,766	13,041	
トータルコスト(A+B)		18,050	19,751	27,043	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市民にわかりやすい議会情報の発信						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
・取手市議会が議会活動に関する情報を積極的に公表し、透明性を高めるとともに、市民への説明責任を十分に果たすことができるよう必要な支援を行う。 ・法律に定められた会議録の作成義務を果たすとともに、取手市議会の会議内容を詳細にお伝えするため、Web上で会議資料及び議事録の公開を行うほか、会議映像の配信を行う。 ・取手市議会の活動をわかりやすくお伝えするため、Web上で会議の概要（Web版ひびき）をお知らせするほか、各種SNSやメールマガジン等を通じて議会活動の情報発信を行う。また、Webからの情報収集が難しい方への対応として、議会広報紙（ひびき）をあわせて発行して情報伝達に努める。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
市議会インターネット配信視聴回数	回	33,633	30,377	35,000	35,000
市議会インターネットチャンネル登録数	件	783	848	900	900
Facebookページフォロー数	件	785	788	900	900
会議録検索システムアクセス数	件	8,364	8,912	10,000	10,000
ひびきメール登録数	件	1,423	1,388	1,500	1,500

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市ホームページ・ひびきメール・市議会Facebookでの情報発信	←年間を通じ、随時実施→											
議会報ひびき発行	←255号発行→			←256号発行→			←257号発行→			←258号発行→		
市ホームページの情報のアクセス性向上	←年間を通じ、随時改善→											
進捗状況	市ホームページ上のメニューをカテゴリー別に分類整理を行い、探している情報に迷いなくたどり着けるように改善した。 市議会インターネットチャンネル登録者数、Facebookページフォロー数、会議録検索システムアクセス数は増加した。 議会報ひびきについては、生成AI（議会報要約作成支援システム）によって質問・討論の要約を作成し、事務の効率化を図った。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	引き続きさまざまなチャンネルを用いて、タイムリーかつわかりやすく議会情報を発信していく。また、市民により届けやすい情報発信の手法について、検討課題として研究を進める。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				議会報ひびきについては、議会報要約作成支援システムの導入により発行にかかる業務時間の減少効果が見られたものの、発行回数が例年より1回多い5回だったためトータルコストは前年度比増となった。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,910	3,217	4,032	
事業費計(A)		2,910	3,217	4,032	
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	2,249	2,207	2,100	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		7,228	7,347	7,245	
トータルコスト(A+B)		10,138	10,564	11,277	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市民の議会及び市政に対する関心・理解・参加を促す取組						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
・取手市議会が、市民の多様な意見を的確に把握して市政に反映させるよう努めるとともに、市民の議会及び市政に対する関心・理解・参加を促すための取組を支援する。 ・取手市議会が市民との対話と報告の場として意見交換会を実施するに当たり、必要な準備、広報周知、会場での支援等を行う。 ・市民との多様な意見交換の場の一つとして、中学生と議員等が直接に対話する事業（中学生議会）を実施し、議会や市政をより身近に感じられる取組を支援する。 ・市民と議会との対話の中から実効性のある政策につながる内容を抽出し、市民と議会が一体となった政策提言を行うための支援を行う。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
市民との意見交換会の参加者数 (オンラインによる参加者を含む。)	人	87	32	90	90
協働事業を実施した学校数	校	1	2	2	2

事業スケジュール(当初)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市民との意見交換会の実施		事前準備	● 実施				事前準備		● 実施				事前準備
意見交換会実施後の 意見の調査検討		寄せられた意見についての調査・検討						寄せられた意見についての調査・検討					
中学生との協働事業		教委・学校説明	希望学校との協議・事業実施						提言事項の調査・検討				
進捗状況	市民との意見交換会を令和7年5月に開催した。なお、高校生を対象とした意見交換会については、令和7年度も実現は叶わなかったが、令和8年度も継続して学校に働きかけを行う。 中学生との協働事業は、取手第一中学校3学年の生徒を対象に実施し、令和7年12月に議場にて模擬議会、令和8年1月に学校体育館で議案の質疑・採決を実施した。 宮和田小学校からの依頼を受けた協働事業として、児童の研究発表活動「めざせ!市の人口9万人をキープ」に対し、7月、10月、2月の3回にわたって市議会議員が学校を訪問してサポートを行った。										進捗度	B (概ね予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 引き続き市民との意見交換会を行うほか、こどもや若年層との意見交換・対話を行う機会を積極的に増やし、市民の議会及び市政に対する関心・理解・参加を促す。

事業費(単位:千円)	R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費				宮和田小学校との協働事業を行ったものの、市民との意見交換会の回数が1回減ったことにより、トータルでは業務時間が減少となった。
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	2	2	2	
事業費計(A)	2	2	2	
人件費				
正規職員数	7	7	7	
業務時間	280	266	300	
その他職員人件費				
人件費計(B)	900	886	1,035	
トータルコスト(A+B)	902	888	1,037	

令和7年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	新しい議会のビジョン・形づくりの支援						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課	議会事務局

事業目的・概要
・議会活動を円滑かつ効率的に行うため情報通信技術の積極的な活用を図るという議会基本条例の趣旨を踏まえ、官民学連携事業・協定などを通じ、新時代の民主主義をサポートするためのシステム、デバイス等についての継続的な情報収集・活用検討・効果検証を行う。 ・取手市議会が、未来を見据えた地方議会の在り方について官民学連携事業・協定などを通じて調査・研究・実践を行ってきた過程・成果・課題を、全国の地方議会へ情報発信をするために必要な支援を行う。 ・取手市議会の先進的な取組が全国的に高い評価を受けていることを踏まえ、Webで発信している取組内容をデータベース・アーカイブとして参照してもらえるよう、引き続き発信内容の充実及び更新を図る。

成果指標	単位	R6 (実績)	R7 (実績)	R8 (目標)	R9 (目標)
議会活動における先進ICT技術の活用検証(新規)	件	1	1	1	1
議会改革・ICT化関連の視察受入	回	45	23	25	25

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
議会活動における先進ICT技術の活用検討・効果検証	←年間を通じて活用検討・効果検証を行う→											
議会改革・ICT化関連視察の受け入れ	←定例議会会期中及び定例会準備期間を除き、通年で受入れ→											
進捗状況	令和7年度は議会報要約作成支援システムを本格導入し、議会広報紙における要約作業の時間短縮・効率化を図った。また、システム導入に伴う課題解決及びより効果的な運用に向けた検討を行うことを通じて、システム開発元に対して改善要望などのフィードバックを行うことができた。議会改革・ICT化関連の視察については、通常業務に支障を来さない範囲(週1回程度)に制限して受け入れた。										進捗度	A (予定どおり進んでいる)

今後の方向性	
継続	先進ICT技術の活用については、業務の時間短縮・効率化の観点のほか、業務の質を上げる観点での活用を検証・確立していく。 視察の受入については、資料作成に生成AIを活用するなど効率化を図り、通常業務に支障を来さない範囲で継続していく。

事業費(単位:千円)		R6(実績)	R7(実績)	R8(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				視察受入回数の減などにより業務時間が減となった。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	42	22	68	
事業費計(A)		42	22	68	
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	390	230	250	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,253	766	863	
トータルコスト(A+B)		1,295	788	931	